



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子  
トムソン・ロイターのフィナンシャル・リスク部門の  
名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい  
**投信** なるほど  
リップパー

## ETFの長所短所を一刀両断③

# 少ない金額でも確実に分散投資

ETF（上場投資信託）は、日本や海外の証券取引所に上場している投資信託です。取引所でオークションのように売り買いできることを「上場」といいます。株式と取引方法が同じETFの価格は、株価と同じように、売り手と買い手の間で取引が成立した時の値段になります。これに対し、上場していない一般の投信は、組み入れている資産の時価から運用にかかる

### ■ETFの特色

種類	株式オープン投信
運用	株式や国債などの指標に連動するインデックスファンド
取引	上場株式と同じで、証券取引所で売買される
価格	日々の純資産から求めた価値を基準にして、証券取引所での売買でリアルタイムに市場価格が動く
費用	売買手数料は、証券会社によって異なる。運用管理費用（信託報酬）は、一般的な投信に比べて低めの傾向

コストを引いて基準価額を求めます。

ETFの特色を表にまとめました。運用の項目にある「インデックスファンド」は、ETFだけでなく、上場していない投信にもよくあるタイプ。株式市場全体や債券市場全体などの動きに連動する投信です。日本株のインデックスとしてよく知られる「東証株価指数（TOPIX）」は、東証1部に上場する株式の全銘柄の時価をもとに算出されます。また「日経平均株価」は、「日経225」とも呼ばれ、東証1部上場銘柄のうち日本を代表する225社の株価をもとにはじき出しています。

インデックスには、株式だけでなく、金や原油など商品（コモディティ）の指標もあります。共通のテーマの株

## ETFで分散投資 TOPIX型の場合



式を集めた指標もあり、業種別や高配当株のほかに、女性が活躍する会社の株を集めたユニークなものもあります。

これらはみな、多くの銘柄が集まってできた指標です。例えばTOPIX型のETFでは、東証1部上場のすべての企業2千社以上に、間接的に分散投資をしていることとなります＝図。日経225型のETFは225社です。1口のインデックスファンドは、連動する指標に含まれる銘柄すべてを集めた、いわば市場のミニチュア版です。

このシリーズの第2回で紹介したアンケート結果では、ETFを持っている人の半分

以上が、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」という魅力を感じていました。株式や債券などで運用する場合、多くの銘柄に分散してリスクを抑えようとすると、まとまった資金が必要になってしまいます。運用できる金額が限られている個人投資家には、分散投資のハードルは高いことでしょう。

ETFはインデックスファンドなので、1つのETFを買うだけで数多くの銘柄に投資をしていることとなります。株式を何銘柄も買い集めなくても、気軽な金額で分散投資ができる優れたものがETFなのです。